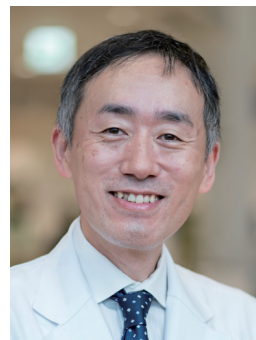


巻 頭 言

病院長 河原林 正敏



2024年度の病院活動報告が完成しましたことをご報告申し上げます。

2024年度には医師の働き方改革が施行され、医師の労務管理も大きく変わりました。当院でも、時間外勤務のより正確な把握と同時に長時間労働を抑制する取り組みを進め、労働と自己研鑽の区分についても全体で意見交換しながら進めてきました。当院がこれまで担ってきた医療機能はできる限り維持しつつ、地域からの信頼と医療従事者の健康を共に守ることができるよう引き続き尽力して参ります。

2024年からは、病院名に添えて「つなげる つながる いのちの平等」という新たなタグラインを使用しています。これは「耳原タグラインプロジェクト」として職員から広く公募し、たくさんの応募作品の中から厳選したものです。このフレーズには、断らない救急の実践、地域の医療機関との連携、患者さんをはじめ地域の方々や共同組織の皆様との繋がりなど、途切れることなく皆で繋がって支え合っていきたいという思いが込められています。

また2024年12月に当院は、医療介護施設に美術や音楽などのアートを取り入れる取り組みを評価する「癒しと安らぎの環境賞」を受賞しました。わたしたちが地域からどのような医療を求められているのか、どのような医療を提供していくのか、コンセプトストーリーを大切にしながらわたしたちが目指すものをビジュアル化する営みでもある当院のアート活動は、新病院建設の前から始まり既に10年を超えました。医療を取り巻く環境は厳しさを増す一方ではありますが、日々の医療活動の充実とともに、わたしたちの思いを皆様にお伝えする取り組みもまた地道に続けていきたいと思っています。

今後とも関係皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

目 次

巻頭言	病院長 河原林 正敏
-----	------------

沿 革 と 年 譜	1
病院の現況(病院の概要・指定医療機関・実施医療機関・救急医療・学会認定・施設基準等)	4
理念・綱領・基本方針	9
組 織 図	12
職員配置表(職種別人数)	13
職員用デジタルサイネージでふりかえる2024年度	14

医療活動報告

外 来 統 計	16
入 院 統 計	17
退院患者統計	20
救急搬送データ	22
Q I データ	24
外来患者満足度調査	26

部門別活動状況

手術室(科別手術数)	28
手術室(各科術式別手術数)	30
内視鏡検査室	36
薬 剤 科	37
臨床検査科・病理診断科	38
放 射 線 科	39
循 環 器 内 科	40
臨 床 工 学 科	41
リハビリテーション科	43
栄 養 管 理 科	44
サポートセンター(患者相談室)(医療福祉相談室)	45
サポートセンター(がん相談支援センター)	46
サポートセンター(入退院支援室)	47
サポートセンター(地域連携室)	47
医師事務支援課	52
組 織 健 診 科	52

各科活動報告

集 中 治 療 科	54
総合診療センター	54
循環器センター(循環器内科)	55
循環器センター(心臓血管外科)	56
消化器センター	57
乳 腺 外 科	58
腎・透析センター(腎臓内科・透析)	59
代謝・膠原病内科	59
呼 吸 器 外 科	60
小 児 科	61
周産期ファミリーケアセンター(産婦人科)	62
泌 尿 器 科	63
整 形 外 科	64
脳 神 経 外 科	64

リハビリテーション科	65
緩和ケア科	65
精神科	68
麻酔科	69
病理診断科	69
放射線科	70
組織健診科	71
歯科口腔外科	71

===== 各委員会・運営会議活動 =====

医療安全対策委員会	74
感染対策委員会	75
倫理委員会	76
安全衛生委員会	77
事業継続管理運営会議	78
情報管理運営会議	78
コーディング委員会	79
診療情報委員会	80
クリティカルパス運営会議	81
日常診療点検運営会議	82
外来診療委員会	82
救命救急運営会議	82
輸血療法委員会	83
院内薬事委員会	84
治験審査委員会	84
がん診療推進運営会議	85
レジメン委員会	85
緩和ケア運営会議	86
院内虐待防止対策運営会議	87
NST・給食運営会議	88
高齢者医療対策推進運営会議	89
身体拘束最小化運営会議	89
褥瘡対策運営会議	90
HPH運営会議	91
アート運営会議	91
CS・ES運営会議	93
医療材料委員会	94
学術運営会議	94
教育学習運営会議	95
ICLS運営会議	96
MLSリンク運営会議	97
TQM推進委員会	97

===== 教育・研修活動 =====

「オープン学習会」一覧	98
「職種横断 学習」一覧	99
実習及び見学受入状況	105

研究実績	106
------	-----

発行にあたって

沿 革 と 年 譜

1953年11月	耳原病院開設(病床数54床…内、児、外、婦、X線)
1955年 7 月	第一病棟増設(病床数117床)
1956年 3 月	皮膚科、泌尿器科新設
1957年 4 月	眼科新設
9 月	第二病棟増設(病床数211床)
11月	耳鼻咽喉科新設
1958年11月	医療法人同仁会(財団)設立
1959年 2 月	整形外科新設
1960年 5 月	鳳診療所開設(内、児、外)
9 月	麻酔科新設
1962年11月	鳳診療所を病院化、鳳分院開設(病床数38床…内、児、外、X線)
1963年 9 月	原爆一般疾病指定
1965年 2 月	総合病院として認可
1971年 7 月	精神神経科新設
1974年 3 月	日常医療点検総括会議
7 月	耳原総合病院竣工(地下1階地上6階、病床数193床)
12月	手術棟改造(病床数213床)
1975年 3 月	泉州高等看護学院開校
12月	管理棟完成
1976年 8 月	旧第二病棟改造(病床数245床)
9 月	同仁会職員互助会発足／同仁会第2次5カ年計画発表
10月	脳神経外科新設
12月	神経内科新設
1977年 5 月	コンピューター導入
1978年 6 月	CT、シネアンギオ棟完成、同2階に10床増設(ベッド255床となる)
1979年 1 月	看護婦宿舎「みみはら寮」完成
4 月	同仁会会館建設
5 月	老松診療所(人工透析25台)開設
8 月	救急病棟(18床)開設(第一病棟除去、未熟児4含め224床となる)
1980年 5 月	別館(地下1階、地上3階、86床)完成、合計280床となる
8 月	耳原旭ヶ丘会館完成(労働組合、夜間保育所が同館に移転)
9 月	耳原旭ヶ丘鍼灸所開設／創立30周年記念行事
1981年 9 月	耳原歯科診療所開設
11月	耳原鳳病院新築移転(85床)老松診療所増改築(40台)
	RI検査室開始
12月	別館2階にSCU開設
1982年11月	内科専門分化実施
12月	入院助産制度認可
1983年 5 月	重症者看護病棟23床
6 月	眼科外来オープン
1984年11月	「耳原友の会」設立総会
1985年 7 月	創立35周年記念事業実行委員会設置
9 月	在宅酸素療法加算承認／4階に「集中観察室」開設
1988年 4 月	新館建設第一期工事竣工(新館5階、新救急病棟)
1989年 1 月	特3類看護認可
2 月	胸部心臓血管外科開設
7 月	適温適時給食実施
1990年 4 月	新館3階病棟オープン
7 月	別館3階病棟オープン
1992年 1 月	外来オーダーリングシステム開始
1993年 4 月	第2土曜休診開始
5 月	第1回健康まつり開催
1994年 4 月	第2・第4土曜休診開始／在宅医療部発足
1995年 1 月	阪神大震災支援運動に取り組む
2 月	ショックウエーブ導入
4 月	骨密度測定装置導入
5 月	訪問看護ステーションみなと開設
9 月	新看護体系(2:1A加算)
1996年 2 月	耳原鳳こども診療所開設

1997年10月	耳原高石診療所開設
1998年 4月	厚生省臨床研修指定病院認可／第2・4土曜日診療再開
12月	老人保健施設みみはら開設
1999年 4月	特定医療法人取得
5月	地域医療室開設／整形外科開設／内科総合病棟開設
10月	病棟再編(10病棟→9病棟)
2000年 4月	救急告示開始(内・小・外)／居宅介護支援事業所開所
11月	みみはら高砂クリニック開設
2001年 4月	リハビリリハビリ基準Ⅱ取得
5月	感染対策緊急集会
7月	第1回医療安全大会(法人)
2002年 2月	皮膚科外部化／専任リスクマネージャー配置
4月	日本医療機能評価受審／外科・心外・整形外科統合診療オープン／放射線科・麻酔医 科専門医着任
5月	放射線科総合受付開設／紹介外来特別加算取得／外来改装
7月	急性期特定病院加算取得
10月	新2階病棟開設／MRI導入
12月	緩和ケア病棟新設／第1回緩和ケアシンポジウム(地域公開学習会)
2003年 5月	鳳病院に6床移設
7月	薬剤師全日24時間体制実施／電子カルテオーダーリングシステム稼働
8月	別館2階病棟「特殊疾患入院施設管理加算」承認／外来化学療法センター開設／入院時 医学管理加算承認
11月	日本医療機能評価一般B認定
2004年 3月	SPDシステム導入
7月	日帰り手術センター開設
11月	「当院の姿勢と患者様に望むこと(患者様の権利章典)」の実施
12月	第1回「地域医療連携をすすめる会」
2006年 9月	みみはらファミリークリニック開設(耳原南花田診療所移転)
2008年 2月	小児科単独病棟開設
2008年10月	集中治療室開設
2009年 6月	無料低額診療事業開始
2010年 8月	新病院建設ニュース 月刊「心ひとつに」創刊
2011年 1月	社会医療法人取得
3月	東北大震災支援運動に取り組む
2012年11月	地域医療支援病院許可
2013年 1月	立体駐車場整備完成
4月	サポートセンター開設
2014年11月	新病院Ⅰ期工事完成
8月	「同仁会報」「とも」(健康友の会みみはら)「心ひとつに」3紙合併発行開始
2015年 3月	新病院竣工式・記念レセプション・内覧会／旧病院解体工事着工
2015年 4月	新病院開院
6月	320列CT導入
9月	歯科口腔外科、救急科 標榜
9月	循環器センター、腎・透析センター、消化器センター開設
10月	「患者さん」呼称変更
2016年 2月	呼吸器外科開設
2016年 4月	熊本震災支援派遣(4/19～6/7までのべ16人)
2016年 5月	Ⅱ期工事完成
	がん相談支援センター開設
2016年 6月	総合診療センター／がん支援センター／がん相談支援センター開設
2016年 9月	消化器センター開設
2016年11月	QMS(Quality Management System)活動開始
2017年 3月	大阪府がん診療拠点病院指定
2017年 4月	チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(CWHC)開設
2017年 9月	一般社団法人 日本専門医機構「総合診療専門研修プログラムにおける一次審査」認可
2017年10月	医師臨床研修マッチング制度、5年連続規定枠フルマッチ
2018年 2月	浅大腿動脈ステントグラフト実施基準による血管内治療の実施認定施設
3月	小児科当直、再開
	リハビリ科、急性期病棟での365日リハ開始
5月	一般社団法人 National Clinical Database 登録 卒後臨床研修評価機構(JCEP)第三者評価 認定更新

7月	外来初診時選定療養費徴収体制の開始
8月	国土交通省 レジリエンス認証 専門外来「胆石症」外来 開設
12月	「バイオ・ジェット」®(先進医療)検査の許可取得
2019年1月	日本医療機能評価機構 3edG: Ver2.0一般病院2 認定
4月	院内でTB・MAC遺伝子検査開始
5月	認定病院患者安全推進機構 患者安全推進フォーラム 当院で開催
9月	6階病棟 新生児室移設工事・9階病棟 内診室設置工事、婦人科救急受入れ開始 ER病棟をハイケアユニットに転換
10月	病棟入替え(8階⇔11階)
11月	堺市特殊詐欺被害防止協力事業者に認定
12月	11階病棟内にハイケアユニット1室(4床)を立ち上げ 毎月勤労統計調査への協力姿勢について厚生労働省より表彰
2020年2月	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)BCPを立ち上げ 「帰国者・接触者外来」の設置
3月	立体駐車場増設
4月	地域医療支援病院(300床以上)の初診・再診選定療養費徴収の義務化
6月	PCR検査機を配備 病室陰圧化の増設(2室)、陰圧前室装置の配備(3台)
7月	6階病棟にNICU(2床)立ち上げ 大阪府より新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ要請(3床) レジリエンス認証更新
8月	小児科時間外受診開始
10月	病院長・病院幹部 交代 医療機能評価中間審査 NICU(3床)運用開始
2021年2月	新型コロナウイルス感染症「重点医療機関」申請(5床確保)
3月	新型コロナウイルス ワクチン接種事業開始
4月	みみはら在宅クリニック 診療開始 11階病棟を新型コロナウイルス感染症専用病棟化(16床確保) 11階病棟を簡易HCUの届出
7月	新型コロナウイルス感染症受入病床(30床確保)
10月	乳腺外科 標榜開始 大阪府 発熱患者「診療・検査医療機関」登録
11月	新型コロナウイルス感染症受入病床(20床確保へ減床)
2022年2月	新型コロナウイルス感染症受入病床(29床確保)
4月	大阪メディカルラボトリーの検査機能を総合病院へ移管 委員会再編を実施 新型コロナウイルス感染症受入病床(16床確保へ減床)
5月	CWHC(チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター)を周産期ファミリーケアセンターへ改組
6月	卒後臨床研修評価機構(JCEP) 第三者評価 認定更新 みみはら公式You Tube チャンネル開設 レジリエンス認証更新
7月	新型コロナウイルス感染症受入病床(20床確保)
12月	新型コロナウイルス感染症受入病床(16床確保へ減床)
2023年2月	新型コロナウイルス感染症受入病床(18床確保)
5月	救急救命士実習開始
8月	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)BCP会議の定期開催を終了
9月	タグラインを職員より募集し「つなげる つながる いのちの平等」に策定
10月	11階病棟の新型コロナウイルス感染症専用病棟化を解消
11月	日本病院医療機能評価機構 3rdG: ver3.0 認定
12月	手術支援ロボット(ダヴィンチXi)を導入
2024年1月	11階病棟の簡易HCUの届出を解消
4月	急性期機能整備諮問委員会を設立 感染症法に係る第1種・第2種協定指定医療機関に指定 医師の働き方改革開始 A水準適応
7月	国土強靱化貢献団体認証レジリエンス認証の更新
10月	総合病院多様性推進運営会議を設立
11月	7階病棟にHCU(4床)を届出
12月	ER HCU2からHCU1へ変更の届出

病 院 の 現 況

1. 病院の概要

病 院 名	社会医療法人同仁会 耳原総合病院
理 事 長	田端 志郎
病 院 長	河原林正敏
所 在 地	〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町 4 丁465番地
診 療 科 目	内科、救急科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、産婦人科、精神科、小児精神科、神経内科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、緩和ケア科、消化器外科、総合診療科、皮膚科、乳腺外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科(休診中)
病 院 開 設	1953年
病 床 数	386床

【主たる指定医療機関】

- 地域医療支援病院
- 大阪府がん診療拠点病院
- 基幹型臨床研修指定病院
- HPH(健康増進活動拠点病院)
- 病院医療機能評価機構認定(3rdG: Ver. 2.0)
- 保険医療機関
- 労災指定医療機関
- 母体保護指定医療機関
- 生活保護指定医療機関
- 更生医療担当医療機関
- 被爆者検診委託医療機関
- 原爆医療指定医療機関
- 特定疾患(難病)治療研究委託機関
- 小児慢性特定疾患治療研究委託機関
- 母子保健法養育医療指定医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 身体障害者福祉法指定機関
- 指定自立支援医療機関(更生・育成・精神通院)
- 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種実施医療機関
- 乳児健康診査取扱医療機関
- 公害医療機関
- DPC/PDPS算定機関
- 児童福祉法指定の第1種助産施設
- 卒後臨床研修評価機構認定病院

- 大阪府難病医療協力病院

- 発熱患者「診療・検査医療機関」(2021.10.11～)

【主たる実施医療機関】

- 厚生労働省医薬品副作用モニター病院
- 特定健診実施医療機関
- 堺市・高石市国保人間ドック実施医療機関
- 堺市子宮がん健診・乳がん健診・大腸がん健診実施医療機関
- 循環器心発作受入医療機関
- 二次救急病院輪番制協力病院

【救急医療】

- 大阪府二次救急告示医療機関(内科・小児科・婦人科)
- 夜間初期小児救急医療支援事業

【施設認定】

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本内科学会認定内科専門研修プログラム基幹施設
- 日本専門医機構認定総合診療専門研修基幹施設
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門研修基幹施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設

- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設拠点教育施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本病理学会研修認定施設B
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本腎臓学会認定教育施設
- 日本透析医学会教育関連施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本産科婦人科学会専門研修連携施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本心エコー図学会認定心エコー図専門医制度研修関連施設
- 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本人間ドック学会／日本病院会 人間ドック健診施設機能評価認定施設
- 日本口腔外科学会准研修施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定施設
- 日本女性医学会専門医制度認定研修施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本緩和医療薬学会 緩和医療専門薬剤師研修施設
- 日本緩和医療薬学会 地域緩和ケアネットワーク研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 認定基幹施設
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- 日本がん治療認定医機構 認定研修施設

- 浅大腿動脈ステントグラフト実施認定施設
- マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設画像認定施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
- 日本胃癌学会認定施設B
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
- 日本精神神経医学会認定 精神科専門研修連携施設
- 日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実施修練施設
- 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- 母体保護法指定医師研修機関

【施設基準等】

[病棟看護体制]

- 一般病棟入院基本料(7対1)認可
- 緩和ケア病棟入院基本料認可
- 重症者特別療養環境(35床)認可

[病院給食入院]

- 入院時食事療法(I)認可

[衛生管理]

- 院内感染防止対策認可施設

[施設認定]

- 検体検査管理認定施設、体外衝撃波(腎・尿管結石破碎術認可施設、胆石破碎術認可施設)、経皮的冠動脈血栓除去術認定、経皮的冠動脈形成術認定、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)認定、経皮的冠動脈ステント留置術認定、ペースメーカー移植術認定

【主な届出】

- 情報通信機器を用いた診療に係る基準
- 医療DX推進体制整備加算
- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療医療安全対策加算2

- 歯科外来診療感染対策加算 3
- 歯科診療特別対応連携加算
- 一般病棟入院基本料(7 対 1)
- 総合入院体制加算 3
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算 1
- 診療録管理体制加算 2
- 医師事務作業補助体制加算 1
- 急性期看護補助体制加算(25 対 1)
- 夜間急性期看護補助体制加算(100 対 1)／看護補助体制充実加算
- 看護職員夜間16 対 1 配置加算 1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 緩和ケア診療加算
- 精神科リエゾンチーム加算
- がん拠点病院加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算 1 ／医療安全対策地域連携加算 1
- 感染対策向上加算 1 ／指導強化加算 抗菌薬適正使用加算
- 患者サポート体制充実加算
- 重症患者初期支援充実加算
- 報告書管理体制加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 後発医薬品使用体制加算 2
- バイオ後続品使用体制加算
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 2
- データ提出加算 2
- 入退院支援加算
- 入退院支援加算の注 8 に掲げる総合機能評価加算
- 医療的ケア児(者)入院前支援加算
- 認知症ケア加算 1
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算
- 排尿自立支援加算
- 地域医療体制確保加算
- 特定集中治療室管理料 1
- 特定集中治療室管理料の注 5 に掲げる早期栄養介入管理加算
- ハイケアユニット入院医療管理料 1
- 新生児特定集中治療室管理料 2
- 小児入院医療管理料 4
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 1
- 緩和ケア病棟入院料 1
- 短期滞在手術等基本料 1
- 入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)
- 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する施設基準
- 外来栄養食事指導料の注 3 に規定する基準
- 心臓ペースメーカー指導管理料の注 3 に掲げる遠隔モニタリング加算
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料Ⅰ
- がん患者指導管理料ロ
- がん患者指導管理料ハ
- がん患者指導管理料ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 二次性骨折予防継続管理料 1
- 二次性骨折予防継続管理料 2
- 二次性骨折予防継続管理料 3
- 下肢創傷処置管理料
- 慢性腎臓病透析予防指導管理料
- 地域連携夜間・休日診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算 1
- 外来腫瘍化学療法診療料 1

- 外来腫瘍化学療法診療料の注 8 に規定する連携充実加算
- 外来腫瘍化学療法診療料の注 9 に規定するがん薬物療法体制充実加算
- 開放型病院共同指導料
- がん治療連携計画策定料
- 外来排尿自立指導料
- ハイリスク妊産婦連携指導料 1
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 歯科治療時医療安全管理料
- 救急患者連携搬送料
- 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
- 在宅療養後方支援病院
- 持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
- 遺伝学的検査の注 1 に規定する施設基準
- BRCA 1 / 2 遺伝子検査
- HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ウィルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2 核酸検出を含まないもの)
- ウィルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
- 検体検査管理加算(Ⅰ)
- 検体検査管理加算(Ⅳ)
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 植込型心電図検査
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ヘッドアップティルト試験
- 人工脾臓検査、人工脾臓療法
- 小児食物アレルギー負荷検査
- 前立腺針生検法(MRI 撮影及び超音波検査融合映像によるもの)
- 画像診断管理加算 1
- CT 撮影及び MRI 撮影
- 冠動脈 CT 撮影加算
- 心臓 MRI 撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の時間外加算 1
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の深夜加算 1
- 人口腎臓
- 導入期加算 2・腎代替療法実績加算
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢抹消動脈疾患指導管理加算
- 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対する LDL アフェレシス療法
- ストーマ機器加算
- 口腔粘膜処置
- 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検(併用)
- 乳癌センチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検(単独)
- 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- 胸腔鏡下弁形成術
- 胸腔鏡下弁置換術
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交

換術(リードレスペースメーカー)

- 両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
- 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
- 植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
- 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極拔去術
- 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
- 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
- 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- 経皮的下肢動脈形成術
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
- バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- 精巣内精子採取術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- 腹腔鏡下仙骨膿固定術
- 腹腔鏡下仙骨膿固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
- 体外式膜型人工肺管理料
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び

6(歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。)に掲げる手術

- 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
- 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術)
- 周術期栄養管理実施加算
- 輸血管管理料Ⅰ
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- レーザー機器加算
- 麻酔管理料(Ⅰ)
- 麻酔管理料(Ⅱ)
- 周術期薬剤管理加算
- 保険医療機関間の連携による病理診断
- 病理診断管理加算1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 口腔病理診断管理加算1
- 看護職員処遇改善評価料63
- 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
- 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
- 入院ベースアップ評価料82

同 仁 会 の な り た ち

私たちの理念「一視同仁」

1950年2月、耳原町(現協和町)に私たちの前身である耳原実費診療所は生まれました。当時は戦後の荒廃した生活の下、同和地域がゆえの差別と貧困にくるしめられ、トラコーマや結核が蔓延し、助かるべき命も失うという悲惨な状況でした。

このような中、地域の人たちと民主的な医師たちが「無差別・平等の医療」をもとめて、3万円(一口100円)の資金を募るなど、自らの診療所開設に立ち上がりました。開設時は借家の手狭な診療所でしたが、堺市で最初の患者の立場に立った民主診療所(現民医連)が誕生しました。

3年後の1953年11月には、いち早く病院化(54床)し、次いで57年には一挙に211床に増床、これを期に「みんなの病院」への思いを込めて58年11月に医療法人(財団)同仁会が設立されました。

創立後半世紀がすぎました。堺市を中心とする大阪民医連南ブロックには、5法人(1病院、8診療所、1介護老人保健施設、1歯科、8訪問看護ステーションなど)が地域に根ざして活動し、民医連連動が大きく広がっています。

「一視同仁」とは「だれかれなく、わけへだてなく平等に愛する」という意味です。差別や貧困とたたかい、すべての人の人権と平和を願う先人の思いが、法人名の「同仁会」にこめられています。

今また、「病気であっても、医療が受けられない」という人権軽視の医療制度改悪が推し進められ、平和がおびやかされる時代へと逆行しつつあります。このような時代だからこそ「一視同仁」の原点を大切にし、「いのちの平等」をしっかりとふまえ、「無差別・平等の医療」をまもり続けます。

民医連(みんないれん)とは

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として1953年に結成されました。

以後、半世紀以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。医療制度を改善する運動もすすめ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1,700カ所を超え、約8万人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約371万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

民 医 連 綱 領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一．人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一．地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一．学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一．科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一．国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一．人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日

耳原総合病院の基本方針

患者や地域と共同し、チームで24時間365日安全・安心・信頼の医療を提供する
健康増進活動の拠点として、地域全体の健康状態改善に取り組む
職員への教育・研修機能の充実を図り、地域医療を担う後継者を養成する
持続的なPDCAサイクルの維持により、医療サービス向上に努める

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

●安全、安心、信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

●無差別、平等の医療

私たちは患者様の人権を尊重した医療をすすめます

●患者負担の少ないを療

私たちは室料差額をいたしません

医療費負担を増やす政策に反対します

●地域とともに歩む専門職の育成

科学性・社会性・倫理性をふまえた鋭い人権感覚をもつ専門職を育成します

基幹型臨床研修病院 耳原総合病院

< 基本理念 >

地域、社会から求められる医師として成長するため、また、医師としての生きがいを持って働き続けるために、

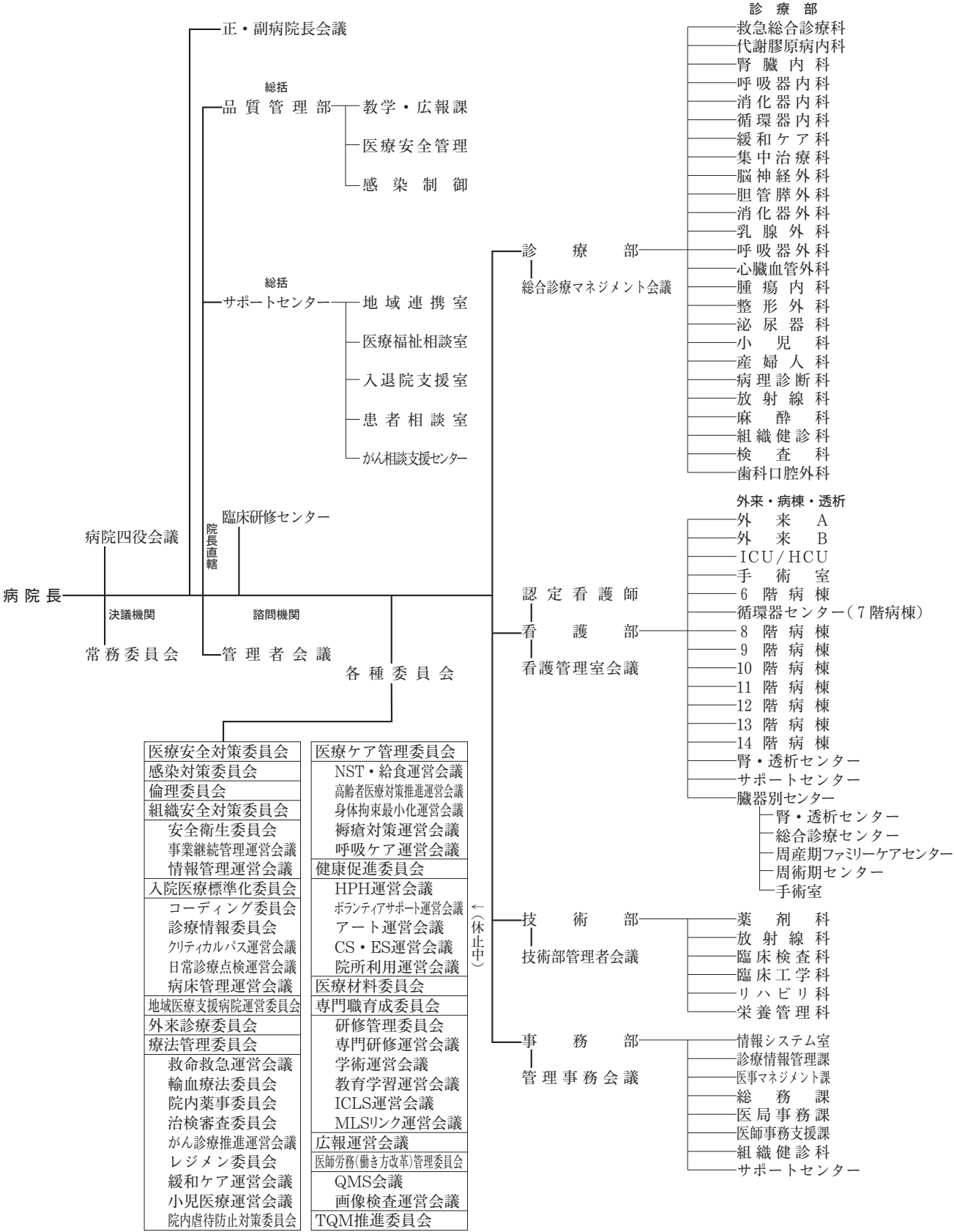
1. 疾患を幅広くとらえる
2. 病院、診療所とともに地域を研修の場とし介護、福祉も視野に入れる
3. 医師としてのリーダーシップ、他職種とのコミュニケーション、医師としての社会的役割を身につける

< 五つの基本姿勢 >

1. 研修医が健康的に研修できる環境を保障する
2. 研修医をひとりにしないよう、十分なバックアップ体制を作る
3. 個々の研修医の到達に合わせ、ゆるやかに無理なく研修を進める
4. 指導医だけでなく、病院全体で研修医を育てる
5. 地域で暮らす生活者として患者様をとらえ、問題解決にあたる

耳原総合病院組織図

2024年 8 月 1 日現在



職員配置表

2025. 3.15現在

職 種	常 勤	非 常 勤		換 算
	人 数	人 数	換 算	合 計
医師	105	103	2.4	107.4
歯科医師	2	1	0	2
薬剤師	25	3	2	27
臨床工学技士	27	4	2	29
検査技師	35	6	3	38
放射線技師	28	0	0	28
理学療法士	37	0	0	37
作業療法士	19	1	0	19
言語聴覚士	9	0	0	9
歯科衛生士	4	1	0	4
トレーナー	0	1	0	0
管理栄養士	11	2	0	11
栄養士	1	0	0	1
調理師	12	5	5	17
介護福祉士	5	0	0	5
その他技師	0	2	0	0
視能訓練士	1	0	0	1
ケースワーカー	5	0	0	5
事務	52	63	57	109
看護師	397	18	9	406
助産師	30	1	0	30
保健師	1	0	0	1
准看護師	1	3	2	3
リハビリ技師助手	0	1	1	1
技術助手	0	8	2	2
介護職員	1	0	0	1
助手	0	10	8	8
看護助手	2	34	23	25
調理員	0	12	6	6
合計	810	279	122.4	932.4

【10月】

特別企画 がん患者・家族サロン「ラ・パンジー」 10/19 Sat
ハープを使った香るインテリア「モイストポプリ」を作りました

患者・家族あわせて8人参加しました

職員も一緒に作りました

☆みなさまご協力ありがとうございました☆ がん相談支援センター

泡タイプに変わります

3階以上の手指消毒アルコール
泡タイプになります

10月18日 13時～
病棟から器具設置をします

2024年10月 感染制御室

10/4 大阪府がん診療連携協議会より、当院へ「がん診療拠点病院」訪問！！

10月4日大阪府がん診療連携協議会として当院のがん診療に関する情報収集や課題の把握などのために、大阪国際がんセンター・松浦総長をはじめ、大阪府庁職員、所市立総合医療センターがんセンター長など、計7名が来訪されました。

化学療法室や緩和ケア病棟、がん相談支援センター等を院内見学された後、がんの診療情報データを元に意見交換。多くの職員スタッフが参加し、積極的な意見交換が行われ、有意義な催しとなりました。

【11月】

MIMIHARA General Hospital

第19回（消化器内科）
耳原総合病院メディカルカンファレンス
『その吐血 内視鏡いりますか？ いりませんか？』
耳原総合病院 消化器内科 河村 智宏 医師

日時：2024年11月12日（火）18:30～19:30
耳原総合病院 2F みみはらホールA

※院内の方は当日、会場にお越しいただき、入場口で所属部署・氏名のご記入をお願いします。

耳原総合病院 〒671-1815 地域連携課 TEL:0120-596-538 FAX:06271-7110

第4回 安全なCVカテーテル挿入のためのレクチャー
★後期研修医・希望者 対象★

11月12日（火）
17:00～18:00
医局会議室にて
成田 亮紀 先生

2024年10月 医療安全管理室

Safety Plusより受講をお願いします
放射線従事者必須

期間：2024年11月1日～12月7日

放射線安全講習

医師 看護師 放射線技師 臨床工学技士 臨床衛生士

不登念は 放射線 送電 7143 両方 7144

【12月】

データ活用事例発表会 開催しました！

2024.12.19

MIMIHARA HOSPITAL CROSS TALK

異文化 コミュニケーションカンファレンス クロストーク Vol.1

「自分らしくこの地域で暮らしていく」～交わり～
～ケアとアートの交わり～

2024.12.3 18:00～20:00

耳原総合病院2階 会議室

補助犬学習会

日時：2024年12月2日（月）
14:00～15:30
場所：みみはらホールA

CS/ES運営会議主催

社会福祉法人 日本ライトハウス（盲導犬訓練所）より講師を招き、白杖の使い方や盲導犬についてのお話、訓練の様子や仕事の実際を見ていただきます。

参加申し込みはこちら→

【1月】

2025年1月9日 センター合同ワークショップ 開催しました

各センター長・副センター長から将来構想・目指す未来についてたくさんの明るいプレゼンをいただきました。次の世代のために『まだまだ頑張る！』リーダーたちの有意義な意見交換の機会となりました。

2024年度 QMS委員会 患者誤認防止 活動
ただいま院内にポスター掲示中です

No.1 声に出して確認する！！
No.2 口頭指示 しっかりと受けてもらい！！
No.3 患者さんの目を見て！！
No.4 間違いを確認！！

2024年度 QMS委員会 患者誤認防止活動 マニュアル周知グループ

入院案内・転倒転落動画を病棟TVで放映しています！

チャンネルは **地デジ2**

入院生活について

【2月】

節分 景観管理科

2/2の夕方に節分の行事食を提供しました

今年の節分は2/2でした！

西南西

渡部亮太郎Dr（専攻医）
高橋秋穂Dr（初期研修医）

堺市医師会主催
「若手医師臨床研究発表会」にて
優秀賞として表彰されました！！

2025年2月 医局事務局

2月の病院見学会のご協力ありがとうございました！

看護対策室

2月22日（土）奨学生希望者の学生、看護学生向けに病院見学会を開催。奨学生希望者3名、看護学生1名が参加。笑顔で対応いただいた各部署のみなさんありがとうございました。次期3月22日（土）に見学会を予定しております。ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

見学会では学生さんの病棟を回りながら各部署を見ていただきます。

【3月】

7F病棟 速報！！！！

2025年3月1日 第44回CVIT近畿地方会

発表：松岡 亨弥
共同研究：清根 隆司 山本 具由
演題：「業務改善の視点でカテ入院説明動画を作成」

◎奨励賞

CVIT

感染性胃腸炎 流行中

嘔吐物処理は **嘔吐物処理セット** を使ってください

嘔吐、下痢後は必ず手洗い！！

2025年3月 感染制御室

2024年度 第2回 必須研修 医療安全・感染対策 研修

受講期間：2025年3/25（火）～4/18（金）

対象者：全職員（委託業者を除く）

医療安全『本当にあった怖い話』
SafetyPlus 感染対策『本当にあった怖い話』

この画面表示にて「受講完了」となります

2025年3月 医療安全管理室 感染制御室